

7 使徒の働き 3章 1-10節

聖霊降臨の騒動に集まった各国からのユダヤ教改宗者を前に大胆に福音を語り、悔い改めを迫ったペテロ。一か月前前にはイエス様を否定して後悔の涙を流していた彼だったのに、「聖霊に満たされる」とは本当に人を用いる神の御業なのですね。今日のところではそのペテロによって主はさらなる力強い証しをなさいます。

1、ここでペテロとヨハネはどんなことをしたのかを見てみましょう。

- ・3千人もの人が救われるというリバイバルの後、彼らは、いつ、どこに行っていたのですか？ (1)

※ペテロとヨハネは午後三時の祈りの時間に宮に上って行ったとあります。ユダヤ人は朝の九時とお昼の正午、そして午後三時と一日に三回祈りました。この三時というのは宮でいけにえがささげられたので、敬虔なエルサレム市民はみな、宮にもうでて祈っていました。

- ・彼らは、施しを求めるその人に何かを感じたようです。彼らの方から語りかけて行きました、どんなアプローチをとったのですか？ (3-8)

- ・どんな結果を見ることになりましたか？

◎ここに私たちの見習う模範があると思います。どんな事柄があるでしょうか？語り合ってみましょう。

2、ここに登場する、施しを求めている人のことを見てみましょう。

- ・この人の生い立ち、境遇、心情…どんなものだったとイメージできますか？ (2)

- ・ペテロたちが「私たちを見なさい」といったとき、彼はどうしたのですか？ (5)

- ・「ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい」とペテロたちから言われ、右の手を取られたとき、何が起こったのですか？

- ・彼の変わりようはどのようなものでしたか？ (8-10)

◎ここに私たちが見ならう模範というか、失ってしまっている模範がないでしょうか？語り合ってみましょう。

5、ここから神様（父、御子、御霊）はどのようなお方だと言えますか？